

平成 23 年度中間決算の概要について

平成 23 年 12 月 15 日  
(社) 第二地方銀行協会

会員行の平成 23 年度中間決算(単体)の概要は以下のとおり。

(注) 計数は平成 23 年 9 月末時点の会員行 42 行ベース(特記ある場合を除く)

1. 損益概況(業務純益:1,753億円、経常利益:1,079億円、中間純利益:717億円)

平成 23 年度中間決算の業務純益は、資金利益や国債等債券関係益が減益となったものの、一般貸倒引当金が大幅な戻入となったため、1,753 億円と前年同期比 31 億円、1.7%の若干の減益となった。

経常利益は、個別貸倒引当金繰入額の減少および貸倒引当金戻入益の計上等から 1,079 億円と同 +200 億円、+22.8%の増益となり、これを受けて中間純利益も 717 億円と同 +162 億円、+29.2%の増益となった。

2. 業務純益の状況

(1) 資金利益(4,680 億円、前年同期比 99 億円、2.1%)

資金利益は、前年同期比 99 億円、2.1%減益の 4,680 億円となった。

この内訳をみると、預貸金収支は、貸出金残高(平残)は増加したものの、預貸金粗利鞘の縮小により、同 51 億円、1.3%減少して 3,898 億円となった。

また、有価証券利息配当金は、有価証券利回の低下により、同 42 億円、4.9%減少して 821 億円となった。

(2) 役務取引等利益(319 億円、前年同期比 5 億円、1.5%)

役務取引等利益は、投信窓販業務手数料は増加したものの、預金・貸出金業務手数料および為替業務手数料の減少等を主因に、前年同期比 5 億円、1.5%減益の 319 億円となった。

(3) その他業務利益(316 億円、前年同期比 38 億円、10.7%)

その他業務利益は、国債等債券売却益の減少を主因に、前年同期比 38 億円、10.7%減益の 316 億円となった。

(4) 経費(3,670 億円、前年同期比 +2 億円、+0.1%)

経費は、3,670 億円と横ばい(前年同期比 +2 億円、+0.1%)となった。

### 3 . 不良債権処理の状況

不良債権処理額は、取引先の経営改善に向けた取組みを強化したこともあり、309 億円と前年同期比 303 億円、 49.5%の大幅な減少となった。

また、金融再生法開示債権(破産更生等債権、危険債権、要管理債権)は、倒産件数の減少等を主因に減少した一方、危険債権および要管理債権は増加したため、前年度末比 +407 億円、 +2.5%増加して 1 兆 6,998 億円となり、開示債権比率も同 +0.08%ポイント上昇して 3.81%となった。

### 4 . 経常利益および中間純利益の状況

経常利益は、業務純益が若干の減益となったものの、臨時損失が縮小したことから、1,079 億円と前年同期比 +200 億円、 +22.8%の増益となった。

臨時損益は、個別貸倒引当金繰入額が減少したことや、貸倒引当金戻入益等が今年度より「特別利益」から「臨時収益」での計上に変更となったこと等を要因に、損失が縮小した( 674 億円の損超と、同 230 億円の損失縮小)。

この結果、中間純利益は、同 +162 億円、 +29.2%増益の 717 億円となった。

### 5 . 単体自己資本比率[国内基準 41 行](自己資本比率:10.63%、Tier 比率:8.30%)

単体自己資本比率は、自己資本額が中間純利益の増益や増資等により増加し、リスクアセットはほぼ横ばいとなったことを受けて、前年度末比 +0.32%ポイント上昇し、10.63%となった。

また、Tier 比率は、同 +0.32%ポイント上昇し、8.30%となった。

### 6 . 預金および貸出金(未残)

#### (1) 預金(58兆5,530億円)

預金(未残)は、前年同期末比 +1兆4,903億円、 +2.6%増加して 58兆5,530億円となった。預金者別にみると、要求払預金を中心に一般法人預金および個人預金とも増加した。また、一般法人、個人とも為替円高を背景に外貨預金は増加した。

#### (2) 貸出金(43兆9,905億円)

貸出金(未残)は、前年同期末比 +6,166億円、 +1.4%増加して 43兆9,905億円となった。

以 上

## 1. 損益の内訳

(単位：億円、%)

	平成23年度 中間期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
業務純益	1,753	31	1.7
業務粗利益	5,316	143	2.6
資金利益	4,680	99	2.1
預貸金収支	3,898	51	1.3
有価証券利息配当金	821	42	4.9
役務取引等利益	319	5	1.5
その他業務利益	316	38	10.7
国債等債券関係損益	244	50	17.0
経費( )	3,670	2	0.1
一般貸倒引当金繰入額( )	108	114	-
臨時損益	674	230	-
個別貸倒引当金繰入額( )	418	90	17.7
株式等関係損益	225	55	-
経常利益	1,079	200	22.8
特別損益	15	25	-
税引前中間純利益	1,063	174	19.6
法人税、住民税及び事業税( )	167	6	3.7
法人税等調整額( )	177	4	2.3
中間純利益	717	162	29.2

(注) 1. 計数は、平成23年9月末現在の全会員行42行ベースである(特記ある場合を除く。以降同様)。

2. 預貸金収支 = (貸付金利息 - 金融機関貸付金利息 + 手形割引料) - 預金利息

3. 国債等債券関係損益 = 国債等債券売却益 + 国債等債券償還益 - 国債等債券売却損 - 国債等債券償還損 - 国債等債券償却

4. 株式等関係損益 = 株式等売却益 - 株式等売却損 - 株式等償却

## 2. 経営諸指標

(単位：%、%ポイント)

	平成23年度中間期		前年同期比
貸出金利回 (A)	1.99	0.11	
有価証券利回	1.09	0.14	
資金運用利回 (B)	1.69	0.13	
預金債券等原価 (C)	1.38	0.08	
預金債券等利回	0.13	0.06	
預金利回	0.13	0.06	
譲渡性預金利回	0.15	0.05	
経費率	1.24	0.03	
人件費率	0.62	0.02	
物件費率	0.54	0.02	
税金率	0.07	0.01	
資金調達利回	0.16	0.06	
資金調達原価 (D)	1.39	0.09	
預貸金利鞘 (A-C)	0.61	0.03	
総資金利鞘 (B-D)	0.30	0.04	
預貸率(未残)	73.54	1.28	
" (平残)	73.45	0.98	
預証率(未残)	25.30	1.03	
" (平残)	25.35	1.02	
コア業純ROA	0.44	0.04	
コア業純ROE	9.68	0.94	
コア業務粗利益OHR	72.37	1.36	

(注) 1. コア業純ROA = (業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券関係損益) × (365/183) / (総資産平残 - 支払承諾見返平残) × 100

2. コア業純ROE = (業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券関係損益) × (365/183) / (純資産平残 - 新株予約権平残) × 100

3. コア業務粗利益OHR = 経費 / (業務粗利益-国債等債券関係損益) × 100

## 3. 経費の内訳

(単位：億円、%)

	平成23年度		
	中間期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
経費	3,670	2	0.1
人件費	1,847	1	0.1
給与・報酬	1,154	8	0.7
賞与	267	3	1.1
物件費	1,616	3	0.2

## 4. 不良債権処理額

(単位：億円、%、%ポイント)

	平成23年度 中間期	前年同期比 増減額/変化幅	前年同期比 増減率
貸倒引当金繰入額	204	248	54.9
貸出金償却	63	34	35.1
その他不良債権処理額	41	19	31.7
合計 (A)	309	303	49.5

与信費用比率 (X)	0.14	0.14	
預貸金利鞘 (Y)	0.61	0.03	
(参考)預貸金利鞘 - 与信費用比率 (Y-X)	0.47	0.11	

(注) 1. 貸倒引当金繰入額 = 一般貸倒引当金繰入額 + 個別貸倒引当金繰入額 + 特定海外債権引当  
勘定繰入額 - 臨時収益 (平成 22 年度中間期は特別利益) 計上の取崩超過額

2. 与信費用比率 = 不良債権処理額 × (365/183) / 貸出金(平残) × 100

## 5. 臨時損益の内訳

(単位：億円)

	平成23年度 中間期	前年同期比 増減額
臨時損益	674	230
個別貸倒引当金繰入額	418	90
貸出金償却	63	34
株式等関係損益	225	55
株式等売買損益	26	16
株式等償却	199	40
貸倒引当金戻入益	106	...
償却債権取立益	34	...

(注) 貸倒引当金戻入益および償却債権取立益は、平成 22 年度中間期は特別利益に計上していたが、平成 23 年度中間期は臨時収益に計上している。

## 6. 金融再生法開示債権

(単位：億円、%、%<sup>°</sup>イト)

	平成23年度 中間期末	平成22年度末比	
		増減額/変化幅	増減率
破産更生等債権	4,974	246	4.7
危険債権	10,185	487	5.0
要管理債権	1,838	167	10.0
開示債権 (A)	16,998	407	2.5
正常債権	428,087	604	0.1
総与信 (B)	445,086	1,012	0.2
金融再生法開示債権比率 (A/B)	3.81	0.08	

## 7. リスク管理債権

(単位：億円、%、%<sup>°</sup>イト)

	平成23年度 中間期末	平成22年度末比	
		増減額/変化幅	増減率
破綻先債権	1,524	213	12.3
延滞債権	13,474	485	3.7
3カ月以上延滞債権	163	24	17.3
貸出条件緩和債権	1,675	144	9.4
合計 (A)	16,838	440	2.7
貸出金 (B)	439,905	1,139	0.3
リスク管理債権比率 (A/B)	3.82	0.09	
貸倒引当金 (C)	6,497	228	3.4
特定債務者支援引当金 (D)	5	0	0.0
引当率 [ (C+D)/A ]	38.62	2.42	

8 . 単体自己資本比率 (国内基準 : 41 行ベース) (単位 : 億円、%、%ポイント)

	平成23年度 中間期末	平成22年度末比	
		増減額/変化幅	増減率
Tier (A)	25,714	946	3.8
Tier (B)	7,266	25	0.3
うち負債性資本調達手段等	4,771	88	1.9
自己資本総額 (C) = (A + B)	32,981	921	2.9
控除項目 (D)	66	5	8.2
自己資本額 (E) = (C - D)	32,914	915	2.9
リスク・アセット合計 (F)	309,470	672	0.2
うち資産(オン・バランス)項目	288,102	355	0.1
自己資本比率 (E/F)	10.63	0.32	
Tier 比率 (A/F)	8.30	0.32	

## 9. 主要勘定の内訳（未残）

（単位：億円、％）

	平成23年度 中間期末	前年同期末比 増減額	前年同期末比 増減率
貸出金	439,905	6,166	1.4
有価証券	150,635	10,441	7.4
国債	75,351	6,066	8.8
地方債	14,314	2,193	18.1
社債	36,227	2,816	8.4
株式	7,052	593	7.8
外国証券	12,070	330	2.8
その他の証券	5,596	323	5.5
商品有価証券	138	5	3.5
金銭の信託	341	92	21.2
コールローン	15,112	1,715	12.8
運用勘定計	614,930	20,252	3.4
繰延税金資産	3,544	113	3.1
資産 計	642,824	20,234	3.2
預金	585,530	14,903	2.6
譲渡性預金	9,665	2,779	40.4
コールマネー	105	264	71.5
調達勘定計	605,102	20,360	3.5
繰延税金負債	42	18	30.0
負債 計	614,387	20,028	3.4
純資産 計	28,436	206	0.7
負債及び純資産 計	642,824	20,234	3.2

以上